

プログラム

第1日目 11月25日(土)

9:10～11:10 第34回研修セミナー ①

第1会場 (6F かがわ国際会議場)

座長：海野 千畝子 (兵庫教育大学)

子どもの感情コントロールと心理臨床
- 乳幼児期のトラウマ -

講師：大河原 美以 (大河原美以心理療法研究室)

11:20～

開会の辞

第1会場 (6F かがわ国際会議場)

大会長：牛田 美幸 (国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 児童心療内科)

11:25～12:25

厚生労働省HPV感染症の予防接種に関する相談支援・医療体制強化のための地域ブロック拠点病院整備事業 共催セミナー ②①

第1会場 (6F かがわ国際会議場)

座長：小石 誠二 (川崎こども心理ケアセンターかなで診療所)

OND

ヒトパピロウイルス(HPV)感染と子宮頸がん

小川 千加子 (岡山大学病院産科・婦人科)

岡山大学学術研究院医歯薬学域周産期・小児救急医療学講座)

不安の文脈で考えるHPVワクチン副反応騒動とこれから

柳生 一自 (北海道医療大学 心理科学部 臨床心理学科)

共催：厚生労働省 HPV感染症の予防接種に関する相談支援・医療体制強化のための地域ブロック拠点病院整備事業
拠点病院 高知大学医学部附属病院 感染症科

11:35～12:25 一般演題 A「発達・心理アセスメント」5演題

第2会場 (1F 展示場)

座長：柏木 充 (市立ひらかた病院 小児科)

小林 穂高 (名張市立病院 小児科)

A-1 幼稚園の年長児と年中児における感覚特性についての調査研究

伊東 祐恵¹⁾、小林 千鶴²⁾、近藤 万里子³⁾、佐々木 沙和子⁴⁾、星山 麻木⁵⁾

- 1) 横浜市西部地域療育センター
- 2) 柚木武蔵野幼稚園
- 3) 帝京短期大学こども教育学科
- 4) 帝京大学教育学部
- 5) 明星大学教育学部

A-2 幼児の認知特性評価における質問紙と個別検査の活用に関する事例的検討

石原 章子¹⁾、岡崎 慎治²⁾

- 1) 筑波大学大学院
- 2) 筑波大学人間系

A-3 発達相談・療育を受けている就学前幼児の日本版WPPSI-IIIの結果と自閉スペクトラム特性との関連

岡田 智

北海道大学大学院教育学研究院

A-4 療育手帳の交付判定のための知的機能／適応行動の評価尺度 Adaptive Behavior and Intelligence Test – Clinical Versionの開発 – 予備的調査 –

村山 恭朗¹⁾、高柳 伸哉²⁾、辻井 正次³⁾

1) 金沢大学 人間社会研究域 人文学系

2) 愛知教育大学 心理講座

3) 中京大学 現代社会学部

A-5 療育手帳の交付判定に用いる知的能力・適応行動評価ツールABIT-CVの開発

高柳 伸哉¹⁾、村山 恭朗²⁾、伊藤 大幸³⁾、浜田 恵⁴⁾、明翫 光宣⁴⁾、辻井 正次⁵⁾

1) 愛知教育大学 心理講座

2) 金沢大学 人間社会研究域

3) お茶の水女子大学 基幹研究院人間科学系

4) 中京大学 心理学部

5) 中京大学 現代社会学部

12:40～13:40 **ランチョンセミナー 1**

第2会場 (1F 展示場)

座長：石崎 優子 (関西医科大学 小児科学講座)

**神経発達症とアタッチメントとの関連
– 粹ぐみのある生活の意義 –**

小平 雅基 (愛育クリニック 小児精神保健科)

共催：ノーベルファーマ株式会社／株式会社メディパルホールディングス

13:50～14:50 **基調講演 1** (心)

第1会場 (6F かがわ国際会議場)

OND

座長：広瀬 宏之 (横須賀市療育相談センター)

**メンタライゼーションと問主観性
– 他者との交流を改めて見直してみる –**

白波瀬 丈一郎 (東京都済生会中央病院 健康デザインセンター)

15:00～16:00 **基調講演 2** (領)(心)

第1会場 (6F かがわ国際会議場)

OND

座長：山崎 知克 (浜松市子どものこころの診療所)

**小児期逆境体験とアップデートするアタッチメント理論
– 子どものこころの診療への示唆 –**

山下 洋 (九州大学病院 子どものこころの診療部)

(共) 専門医機構の共通講習単位予定 (領) 小児科学会専門医領域講習予定 (心) 子どもの心の専門医単位予定

OND オンデマンド配信有り

15:00～16:00 教育セミナー ①

第2会場 (1F 展示場)

OND

座長：榊屋 二郎 (東京医科大学病院 メンタルヘルス科)

心理即興劇プレイバックシアターを用いたいじめ防止授業
—子どもたちが気づき、変わっていくために—

宗像 佳代 (スクール・オブ・プレイバックシアター日本校)

指定発言

脳科学的観点からいじめ当事者のナラティブを考える

虫明 元 (東北大学大学院医学系研究科)

16:10～17:50 シンポジウム「医療者がメンタライズする」 第1会場 (6F かがわ国際会議場)

座長：池田 暁史 (大正大学心理社会学部 臨床心理学科)

松崎 くみ子 (跡見学園女子大学 心理学部臨床心理学科)

児童虐待臨床におけるメンタライジング

淵野 俊二 (社会福祉法人浜松市社会福祉事業団 子どものこころの診療所)

小児科医の立場から

井上 登生 (井上小児科医院)

隗より始めるメンタライゼーション

池田 暁史 (大正大学心理社会学部 臨床心理学科)

16:10～16:50 一般演題 B「併存症・鑑別診断」 4演題

第2会場 (1F 展示場)

座長：安藤 亜希 (全国療育相談センター)

北山 真次 (姫路市総合福祉通園センター)

B-1 偏食に伴う壊血病により歩容異常を呈した自閉スペクトラム症の一例

今井 憲、竹下 絵里、中川 栄二

国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経小児科

B-2 小児科を受診する小児精神神経領域の患者における亜鉛欠乏症に関する
診療録調査

石崎 優子、柳本 嘉時、藤井 由里、金子 一成

関西医科大学小児科学講座

B-3 「拾い食い」の原因の鑑別に難渋した1例

大橋 圭^{1,2)}、滝藤 明日香¹⁾、武内 温子¹⁾、畔柳 明子¹⁾、今橋 寿代¹⁾、今枝 正行¹⁾

1) 名古屋市立大学病院 小児科

2) 名古屋市立大学大学院医学研究科 こころの発達医学寄附講座

B-4 注意欠陥多動性障害との鑑別が困難だった小児の双極性障害の一例

前場 珠子

不知火クリニック

17:00～17:50 一般演題 C「薬物療法」5演題

第2会場（1F 展示場）

座長：原田 剛志（パークサイドこころの発達クリニック）

今枝 正行（北部地域療育センターよつば 小児科）

C-1 レベチラセタムにトピラマートを併用して改善したチックの2例

小沢 浩、井之上 寿美、白井 育子、福田 あゆみ、塩田 陸記、小沢 愉理

島田療育センターはちおうじ

C-2 てんかんを併存する神経発達症におけるメラトニンの影響

中川 栄二

国立精神・神経医療研究センター病院 てんかん診療部

C-3 児童期発症の統合失調症患者の陰性症状に対して抗精神病薬と抗うつ薬の併用療法が奏効した一例

金子 信也¹⁾、長 由利子¹⁾、藤田 梓¹⁾、山村 淳一¹⁾、高貝 就²⁾

1) 独立行政法人 国立病院機構 天竜病院

2) 浜松医科大学 児童青年期精神医学講座

C-4 中枢神経刺激薬を内服治療中のADHD評価スケールの経年変化について

高橋 絵理子¹⁾、奥村 智人²⁾、和田 志乃¹⁾、宇野 正章¹⁾

1) パームこどもクリニック

2) 大阪医科薬科大学小児高次脳機能研究所

C-5 発達障害専門クリニックにおける注意欠如・多動症の薬物治療転帰について

田村 立

長岡こころの発達クリニック

18:10～20:10 イベント 心理即興劇の観劇体験

第3会場（4F e-とびあかがわ内 5F BBスクエア）

司会：里村 茂子（徳島赤十字ひのみね医療療育センター 小児科）

吉原 康（福島整肢療護園）

プレイバックシアター “ありふれた日常の中で”

出演：劇団プレイバックーズ（代表 小森 亜紀）

注) 参加登録をされた方は、あらかじめメイン会場の総合受付でチケットをお受け取りいただき、会場（BBスクエア）前の受付でご提出ください。他の方へのチケットの譲渡はお控えください。

注) 25日(土)朝8:30からメイン会場ホワイエ受付で当日チケット30枚を配布いたします。

注) キャンセル待ちをご希望の方は、直接、会場前の受付にいらして、スタッフにお声をおかけください。

〔共〕 専門医機構の共通講習単位予定 〔領〕 小児科学会専門医領域講習予定 〔心〕 子どもの心の専門医単位予定

OND オンデマンド配信有り

プログラム

第2日目 11月26日(日)

8:40～9:30 会長講演

第1会場 (6F かがわ国際会議場)

OND

座長：宮本 信也 (日本小児精神神経学会 前理事長)

親と子の関係性の臨床を試みて —愛着とメンタライゼーションの観点から—

牛田 美幸 (国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 児童心療内科)

9:00～9:50 一般演題 F「発達の多様性」5演題

第2会場 (1F 展示場)

座長：石田 悠 (東京医科大学 小児科・思春期科学分野)

宮地 泰士 (名古屋市西部地域療育センター)

F-1 極低出生体重児の3歳時における神経発達と周産期の呼吸・栄養管理との関連 —予備的研究

万代 ツルエ¹⁾、八木 麻理子²⁾

1) 兵庫県立大学 保健センター

2) 甲南女子大学 人間科学部 総合子ども学科

F-2 脳炎後遺症児における認知発達の経年的評価の事例検討 —指導経過とDN-CAS認知評価システムの時間経過による変化から—

岡崎 慎治¹⁾、武村 知保²⁾

1) 筑波大学人間系

2) 筑波大学心理・発達教育相談室

F-3 自閉スペクトラム症 (ASD) 児の発話と読字・書字の発達順序の特異性と知的障害の有無についての量的調査

近藤 万里子¹⁾、星山 麻木²⁾

1) 帝京短期大学

2) 明星大学

F-4 ASDにおける感覚処理特性とこだわりの幼少期から成人期までの長期的 予後についての検討

井上 菜穂¹⁾、井上 雅彦²⁾

1) 国立大学法人 鳥取大学 教育支援・国際交流推進機構 学生支援センター

2) 国立大学法人 鳥取大学大学院 医学系研究科 臨床心理学専攻

F-5 全児童訪問型5歳児健診において発達障害・情緒障害に関して経過観察となった児の周産期から3歳児健診までのリスク因子に係わる縦断研究：大田原市研究

下泉 秀夫^{1,2)}、渡辺 浩史^{1,3)}

- 1) 国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園小児科
- 2) 国際医療福祉大学大学院医療福祉学分野
- 3) 国際医療福祉大学医学部

10:00～10:40 **一般演題 D「診療体制」** 4演題

第1会場（6F かがわ国際会議場）

座長：永瀬 裕朗（神戸大学医学部附属病院 小児科）

汐田 まどか（鳥取県立総合医療センター）

D-1 兵庫県立こども発達支援センター 10年間のまとめ

大橋 玉基、梶 瑞佳、野中 路子

兵庫県立こども発達支援センター

D-2 機能的な身体症状に対する小児神経科医の役割

星野 英紀、中井 まりえ

帝京大学 小児科

D-3 埼玉医科大学病院における小児科と児童精神科の協働による小児精神疾患の診療体制構築の試み（その2）

－「子どものこころ専門医」研修1年間に経験した症例の検討－

築 明子^{1,2)}、颯佐 かおり¹⁾、武者 育麻¹⁾、石井 佐織¹⁾、田中 順子¹⁾、野崎 健太郎²⁾、松嵩 くみ子^{1,3)}、秋岡 祐子¹⁾、桑原 齊^{1,2)}

- 1) 埼玉医科大学病院 小児科
- 2) 埼玉医科大学 神経精神科・心療内科
- 3) 跡見学園女子大学心理学部臨床心理学科

D-4 児童精神・発達外来におけるカウンセリング診療の時間的負担－質問紙調査による定量解析

中村 明雄¹⁾、稲毛 英介¹⁾、井上 久美子¹⁾、三友 聡美¹⁾、岩崎 友弘¹⁾、清水 俊明¹⁾、藤井 由里²⁾、柳本 嘉時²⁾、石崎 優子²⁾、米山 明³⁾

- 1) 順天堂大学 小児科
- 2) 関西医科大学 小児科
- 3) 全国療育相談センター

座長：大橋 圭（名古屋市立大学大学院医学研究科 こころの発達医学寄附講座）
桜井 優子（東京都立小児総合医療センター）

**G-1 特別養子縁組で親・家族になった経験
— 1事例の振り返り —**

池田 友美¹⁾、古川 恵美²⁾、鯉坂 誠之³⁾

- 1) 摂南大学 看護学部
- 2) 兵庫県立大学 看護学部
- 3) 大阪公立大学工業高等専門学校

G-2 特別養子縁組の子どもの生い立ちを家族と共に受け止めていくペアレント・トレーニングの実践

古川 恵美¹⁾、池田 友美²⁾、鯉坂 誠之³⁾、中村 恵⁴⁾、福地 成⁵⁾、石崎 優子⁶⁾

- 1) 兵庫県立大学
- 2) 摂南大学
- 3) 大阪公立大学工業高等専門学校
- 4) 畿央大学
- 5) 東北医科薬科大学
- 6) 関西医科大学

G-3 Attachment Based Child Care Training (ABCC-T) の開発

池谷 和¹⁾、野崎 健太郎²⁾、桑原 齊²⁾

- 1) 森町なごみ診療所
- 2) 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

**G-4 小児期の被養育体験が成人期状態不安に与える影響
：レジリエンスと抑うつ的反すうによる媒介作用について**

東野 有依、榊屋 二郎、小野 美樹、井上 猛

東京医科大学 精神医学分野

座長：小泉 慎也（同愛記念病院 小児科）
岡田 剛（聖峰会岡田病院）

I-1 円滑な通級の利用を実現するための提案

本田 久仁子

こども相談室まーぶる

**I-2 小学校進学後に学校適応が困難だった子の特徴
～ 5歳児健診の結果から～**

小野 舟瑛¹⁾、野村 昂樹²⁾

- 1) 福島学院大学短期大学部
- 2) 総合診療センターひなが

I-3 当院新生児フォローアップ外来に通院する学童の進学状況と乳幼児発達検査の関係性についての検討

本多 正和、田中 順子
埼玉医科大学病院 新生児科

I-4 登校しぶり・不登校児における初診時WISC-IVの検討

山上 貴司、福本 礼
天満病院 小児科

I-5 福井県における神経発達症の医療と学校の連携に関する実態調査
「医療が学校に期待すること、学校が医療に期待すること」

川谷 正男^{1,2)}、小坂 拓也^{1,2)}、熊野 麻美¹⁾、林 仁幸子¹⁾、富士根 明雄¹⁾、津田 明美¹⁾
1) 福井県こども療育センター 小児科
2) 福井大学医学部附属病院 小児科

11:00 ~ 12:00 特別講演1 領^心

第1会場 (6F かがわ国際会議場)

座長：友田 明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター 発達支援研究室)

OND

脳科学から見た子供の心の臨床

岡野 憲一郎 (本郷の森診療所/京都大学)

11:00 ~ 12:00 厚生労働省 慢性疼痛診療システム均てん化事業・
一般財団法人日本いたみ財団 共催セミナー 心

第2会場 (1F 展示場)

座長：金生 由紀子 (東京大学大学院医学系研究科 脳神経医学専攻統合脳医学講座
こころの発達医学分野)

OND

痛覚変調性疼痛とは何か？
一小児期の慢性疼痛との関連も含めて

西原 真理 (愛知医科大学医学部疼痛医学講座)

共催：厚生労働省 慢性疼痛システム均てん化事業 拠点病院 国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 疼痛医療センター
一般財団法人 日本いたみ財団

12:15 ~ 13:15 ランチョンセミナー2

第2会場 (1F 展示場)

座長：小枝 達也 (国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部)

本邦ガイドラインの改訂を踏まえたADHDの診断と治療

岡田 俊 (奈良県立医科大学 精神医学講座)

共催：ヤンセンファーマ株式会社

共 専門医機構の共通講習単位予定 領 小児科学会専門医領域講習予定 心 子どもの心の専門医単位予定

OND オンデマンド配信有り

13:30～14:10 一般演題 E「環境と支援の関係性」 4演題 第1会場 (6F かがわ国際会議場)

座長：森 健治 (徳島大学病院 子と親のこころの診療室)
古荘 純一 (青山学院大学 教育人間科学部)

E-1 概念形成以前の認知発達を行動との関係で捉える
ー障害児通所支援施設における意思形成・意思表出支援に関連してー

立松 英子
全国療育相談センター

E-2 強度行動障害の予防
ー福祉型障害児入所施設における「集中療育」の実践ー

高橋 潔
公益財団法人鉄道弘済会・弘済学園

E-3 1歳6か月児の神経学的発達の検討：新型コロナウイルス感染症流行前後での変化

京野 由紀¹⁾、西山 将広^{1,2)}、永瀬 裕朗¹⁾
1) 神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野
2) 兵庫県立こども病院 神経内科

E-4 COVID-19パンデミックがトゥレット症患者の生活や行動、心理に与えた影響について

佐々木 宏太¹⁾、松田 なつみ²⁾、藤原 麻由¹⁾、野中 舞子³⁾、藤尾 未由希⁴⁾、濱本 優¹⁾、
徳永 茜子³⁾、中西 一貴⁵⁾、金生 由紀子¹⁾
1) 東京大学医学部附属病院 こころの発達診療部
2) 白百合女子大学 人間総合学部
3) 東京大学大学院 教育学研究科
4) 帝京大学 文学部心理学科
5) 国立国際医療研究センター病院

13:30～14:10 一般演題 H「心理的治療とメンタライジング」 4演題

第2会場 (1F 展示場)

座長：三浦 直子 (横浜医療福祉センター港南)
柴田 光規 (川崎西部地域療育センター)

H-1 援助要請行動におけるメンタライゼーション依存性の検討

有宗 和紀
跡見学園女子大学 人文科学研究科 臨床心理学専攻

H-2 嘔吐恐怖症の中学生男児に対するポリヴェーガルインフォームドケアの実践

淵野 俊二、山崎 知克
浜松市子どものこころの診療所

H-3 虐待の世代間伝達を背景とした親子への治療

渡邊 恵里

川谷医院

H-4 メンタライジングの向上を目指した、神経発達症男児の入院治療および父子介入

早川 武、山村 淳一、藤田 梓、長 由利子、金子 信也

国立病院機構 天竜病院 子どものこころのケアセンター・児童精神科

13:30～14:20 一般演題 J「神経発達症支援」5演題

第3会場 (4F e-とびあかがわ内 5F BBスクエア)

座長：田中 順子 (埼玉医科大学病院 小児科・新生児科)

宮崎 雅仁 (小児科内科三好医院)

J-1 神経発達症児に対する自己認知支援の取り組みについて (パート I)

福本 礼¹⁾、赤壁 省吾²⁾、篠原 里奈³⁾、山上 貴司¹⁾

1) 医療法人栄寿会 天満病院

2) 社会福祉法人みらい ジュニアクラブ

3) 社会福祉法人みらい ジュニアクラブ蔵本

J-2 神経発達症児に対する自己認知支援の取り組みについて (パート II)

赤壁 省吾¹⁾、篠原 里奈²⁾、福本 礼³⁾、山上 貴司³⁾

1) 社会福祉法人みらい 放課後等デイサービス ジュニアクラブ

2) 放課後等デイサービス ジュニアクラブ蔵本

3) 医療法人栄寿会 天満病院

J-3 神経発達症児に対する自己認知支援の取り組みについて (パート III)

篠原 里奈¹⁾、赤壁 省吾²⁾、福本 礼³⁾、山上 貴司³⁾

1) 社会福祉法人みらい 放課後等デイサービス ジュニアクラブ蔵本

2) 放課後等デイサービス ジュニアクラブ

3) 医療法人栄寿会 天満病院

J-4 就学前の場面緘黙症児に対するグループセラピーの試み

柴田 ひろみ、西山 春菜

福岡市立心身障がい福祉センター

J-5 限局性学習症児に対する心理学的査定および学習方法の提案実践を通して

花井 彩乃¹⁾、福元 理英²⁾、横山 佳奈¹⁾、野邑 健二¹⁾

1) 名古屋大学 心の発達支援研究実践センター

2) 日本福祉大学大学院 社会福祉学研究科

14:35～15:35 **特別講演2** 領^心

第1会場 (6F かがわ国際会議場)

OND

座長：小林 潤一郎 (明治学院大学 心理学部教育発達学科)

**十代における市販薬乱用・依存
～自傷と自殺のあいだ**

松本 俊彦 (国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物
依存研究部／薬物依存症センター)

15:45～

次期大会長挨拶

第1会場 (6F かがわ国際会議場)

第131回大会 大会長：岡崎 慎治 (筑波大学人間系)

15:50～

閉会の辞

第1会場 (6F かがわ国際会議場)

大会副会長：中土井 芳弘 (国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 児童精神科)